

環境管理システム論 Environmental Management System		全専攻		専攻必修科目	
		1年	後期	2単位	必修
担当者(部屋番号)					
井口 博貴 (814)					
【 授 業 目 標 】					
<p>環境管理学を学ぶ者は、環境管理の方法について世に出てから問われることは必然的である。そこで環境管理システム(EMS: Environmental Management System)の方法論を借りて、基本的なシステムを学習する。まず、ISO14000の意義および必要性、環境法との関連性、PDCAサークル、環境監査の方法、各社実施例、そしてこの方法が「持続可能な開発」に貢献しうるかについて考察する。</p>					
【 授 業 方 法 】					
<p>講義と板書を主体として進めて行く。ノートをとることが多くなると思うが、この講義が終わったころはそのノートが一冊の参考書となるような方法で行う。例年好評なのでこの方法で行う。必要ありと感じた時はプリント、視覚資料(OHP, POWER POINT)も併用する。</p>					
【 授 業 計 画 】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 ISO14000とは何か 2 SC1(EMS)とSC2(EA)環境監査 3 SC3(EL)環境ラベル、SC4(EPE)環境パフォーマンス、SC5(LCA)ライフサイクル アセスメント 4 ISO14000はなぜ必要か：公害の概念 5 ISO14000のための環境学概論 6 EMSと関連法規 7 EMSの実際：(1)予備知識 8 (2)PDCAサークルの分析 9 外部機関による審査方法 10 ISO14000の事例(1)製造業 11 (2)建築業 12 (3)地方自治体 13 環境ビジネス：ソフトとハード 14 ISO14000は持続可能な発展を促進できるか？ 15 総括 					
教科書	なし		評価方法	出席率、平常点、 最終試験の結果による	
参考書	なし		留意点	特になし	